

農繁期 レポート

令和5年 4-5月号

エースファーム

オーナー 株式会社エース
産地 鳥取県日野郡日南町
水田面積 20.1アール
保証量 玄米905kg
形態品種 特別栽培コシヒカリ



生産者 高橋 秀紀さん

今年も継続していただき、ありがとうございます。今年もお米作りがスタートしました。4月に入ってから、肥料を散布したり耕したりし準備してきました。5月10日晴天の中で無事に田植えを終えました。田んぼ周辺も草刈りを行って、すっきりしています。とても気持ちの良い空気が流れているように感じます。秋の収穫まで精一杯管理し、おいしいお米をお届けできるよう頑張ります。よろしくお祈りいたします。

4月～5月の作業内容

1. 土づくり

「良質米は土づくりから」と言われますが、前年の収穫が終わった秋に田を耕す「秋鋤き」を行い、土をじっくり熟成させます。今年の水田植えの準備は半年以上前からスタートします。



厳しい冬に土を熟成

2. 苗づくり（育苗）

種もみを消毒し、水に浸して発芽を促します。温度と水管理が非常に重要な作業となります。植えつけに最適な苗の状態は12～13cm、2.0～2.5葉期（葉が3枚弱出ている状態）です。健全な苗づくりが欠かせません。



苗箱

3. 荒起こし・^{しろ}代かき

昨年稲を収穫した田んぼの土をひっくり返してほぐし（荒起こし）、水を入れて機械でかき混ぜて泥状態にする「代かき」を行います。この作業により雑草の発生を抑え、苗を植えやすくなることができます。



代かき（表面を平らにする）

4. 田植え

通常、代かき後5～6日後を目安に田植えを行います。1株に苗を3～4本、1坪あたりに約50株を基準にして植えます。しっかりと均平が取れていると、苗の植え付け状態も良くなり高品質なお米が収穫できます。



田植え